



おのまち

議会だより

159号

令和元年
8月9日発行



定例会6月会議

4 常任委員会審査

9 追跡!あの一般質問を検証

6 町政を問う!2人が一般質問

10 町民・議会懇談会

日ごろの訓練が大切～心肺蘇生法について学ぶ小野中学校消防クラブの皆さん～

定例会6月会議

6月12日～17日

令和元年小野町議会定例会6月会議は、6月12日から17日まで6日間の日程で開かれました。

会議では、令和元年度一般会計補正予算、条例の一部改正など7件の町長提出議案と、議員提出議案2件が提出され、議案はすべて原案のとおり可決したほか、予算の繰越明許費繰越の報告がありました。

また、2名の議員が一般質問を行い、町政各般にわたり町長の考えをいただきました。



▲本会議の様子

4701万3千円追加する補正予算を可決

一般会計の歳入歳出それぞれ4701万3千円増額し、総額54億6901万3千円とするものです。

【主な補正内容】

◆歳入		◆歳出 ※1万円未満切り捨て	
項 目	補正額	項 目	補正額
疾病予防対策事業費等補助金	149万円	追加的風しん対策事業	214万円
社会資本整備総合交付金(防災事業分)	72万円	ふくしま森林再生事業森林整備業務委託料(増額)	2381万円
福島県地域創生総合支援事業県補助金	392万円	消費税増税対策プレミアム付商品券発行事業補助金	1505万円
ふくしま森林再生事業県補助金	2381万円	飲用水確保対策事業補助金(増額)	600万円
消費税増税対策プレミアム付商品券事業県補助金	1505万円		

条例の一部改正

次の条例の一部が改正されました。主な内容は次のとおりです。

◆小野町税条例等

地方税法等の一部を改正する法律が公布され段階的に施行されることに伴い、所要の改正を行うものです。

◆小野町国民健康保険税条例

国民健康保険法施行令の一部を改正する政令の施行に伴う国民健康保険税の賦課限度額の引き上げ、軽減対象世帯の範囲の拡大など、所要の改正を行うものです。

◆小野町介護保険条例

介護保険法施行令の一部を改正する政令等の施行に伴い、消費税率の引き上げによる社会保障の充実策として、保険料の軽減に関する所要の改正を行うものです。

◆小野町ひとり親家庭医療費の助成に関する条例

生活困窮者自立支援法等の一部を改正する法律の施行に伴い、ひとり親家庭医療費助成制度の所得について、前々年度の所得で確認する受給者の登録期限を「7月1日まで」から「10月1日まで」に改正するものです。

※改正された内容の詳細につきましては、小野町議会ホームページに8月下旬掲載予定の会議録をご覧ください。

組合脱退

◆田村広域行政組合からの脱退を可決

田村市からの組合脱退の予告通知を受け、残る小野町と三春町では存続は困難と判断し、解散する方向で検討を進めていましたが、大きな課題となるごみ焼却施設整備について、広域行政組合を脱退し、時期を逸することなく新たな枠組みによる整備を早急に検討する必要があることから提案されました。各議員からは様々な意見が出されましたが、今後適切な時期に十分な資料を提示のうえ、議会との協議を行うことを申し添え、可決したものです。

(※詳細は、広報おのまち7月号をご覧ください。)

契約締結

認定こども園整備事業敷地造成工事請負契約について、予定価格が5000万円以上であることから、議会の議決を経て契約を締結するものです。

契約先：株式会社秋田組
契約額：1億9224万円

議員提出議案

2件の議員提出議案を可決しました。

◆議員派遣について

小野町議会会議規則第127条第1項により、議案の審査又は町の事務調査などのため議員を県内外に派遣することについて提案したものです。

議案提出者：宗像 芳男 議員

◆意見書の提出

東日本大震災・原発事故からの森林・林業の再生を図るための事業への継続した取り組みについて、意見書を内閣総理大臣等に提出することについて提案したものです。

○ふくしまの森林・林業再生事業継続に向けた意見書

議案提出者：竹川 里志 議員
意見書提出先：内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣、復興大臣

報告事項

予算繰越明許費繰越について、町長から報告がありました。

○平成30年度小野町一般会計予算繰越明許費繰越の報告について

5月第1回会議開催

5月21日に令和元年小野町議会5月第1回会議を開催し、次の議案を可決しました。

議員提出議案

◆議員派遣について

小野町議会会議規則第127条第1項により、議案の審査又は町の事務調査などのため議員を県外に派遣することについて提案したものです。

議案提出者：宗像 芳男 議員

7月第1回会議開催

7月8日に令和元年小野町議会7月第1回会議を開催し、次の議案を可決しました。

◆補正予算

令和元年度小野町一般会計において、選挙長等の報酬の増額に伴う参議院議員・福島県議会議員・小野町議会議員選挙における費用を増額するものです。

◆条例改正

国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の改正に伴い、特別職の職員で非常勤のものの給与及び費用弁償に関する条例の一部改正により、選挙長等の報酬経費を改正するものです。

◆契約締結

消防ポンプ自動車購入契約について、予定価格が700万円以上であることから、議会の議決を経て契約を締結するもので、浮金地区に配備される予定です。

契約先：有限会社渡辺鉄工消防用品
(田村市)
契約額：1944万円



ここが聞きたい 質疑 常任委員会審査

税務課

問 軽自動車税の種別割の内容は。

答 これまで「軽自動車税」と言われていたものが「種別割」となる。今回の改正で「自動車取得税（県税）」が廃止され、軽自動車税の「環境性能割（町税）」となる。



町民生活課

問 町では健康づくり、健康増進事業に取り組んでいるとのことだが、その効果の検証については、どのように行っているのか。

答 健康づくりについては、健康福祉課と連携しながら、各種事業を展開してきた。検証結果については、庁内での情報共有、国民健康保険の運営に関する協議会において、個別事業の評価内容を説明し、委員からの意見を参考にしながら保健事業を進めていきたい。

問 ごみ焼却施設のシミュレーションを出してもうったが、町としてどの案を進めていくかという方針は決まったのか。

答 町単独ではなく、田村市と連携してごみ処理を行っていく体制作りをしていきたいと考えている。

意見

問 ごみ焼却施設の整備については、田村市との対等な立場でということだが、負担割合や示された建設費用について田村市と共有しているのか。

答 負担割合や建設費用については、あくまで町の独自調査・試算によるもの。田村市へ示していない。

意見 組合の脱退について、各委員から多くの意見等が出されたので、その点を必ず上司に伝え、よく吟味していただき、追加資料等があれば早急に提出願いたい。

答 経過等については、適時・適切に報告させていただく。資料については、文書等、わかりやすい内容を心がけ、提供できるものは準備させていただく。

厚生産業常任委員会

健康福祉課

問 小野町の介護保険料の基準額は7万9200円とのことだが、他市町村の状況は。また、基準額の割合は全国統一の数値なのか。

答 小野町の月額6000円という金額は県内で15番目に高い金額である。近隣では三春町が5762円、田村市で6000円となっている。基準額の割合については、規則で定められており一律となっている。

問 三春町や田村市と比較すると小野町のほうが高いが、例えば保険料を田村市と同じ6000円まで引き下げるとどのような問題があるか。

答 ニーズ調査により、令和3年から5年度までの保険料率を算出しており、保険料を引き下げするためには、介護認定率を引き下げる必要がある。

子育て支援課

問 こども食堂への取り組みの検討状況は。塾との併設などボランティア等でそうした話しがあれば町としても協力していただきたい。

答 現在要望はない状況だが、他自治体の事例等も参考にしていきたい。



問 認定こども園の選考委員については決定したのか。決定した委員構成について、議会へ報告すべきではないか。

答 早急に報告を行いたい。

審議した議案と各議員の賛否

・賛成が「○」、反対は「×」と表示します。
・村上昭正議長は採決に加わりません。

会議名	提出区分	議案名	可否	渡邊直忠	会田明生	竹川里志	宗像芳男	田村弘文	籠田良作	水野正廣	遠藤英信	久野峻	佐藤登	吉田康市
会議 5月 第1回	町長	議員派遣について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和元年度小野町一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町税条例等の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町介護保険条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		田村広域行政組合からの脱退について	可決	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○
定例会 6月会議	町長	認定こども園整備事業敷地造成工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議員派遣について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ふくしまの森林・林業再生事業継続に向けた意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月第1回会議	町長	令和元年度小野町一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		特別職の職員で非常勤のものの給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		消防ポンプ自動車購入契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※提出区分欄の「町長」は町長提出議案、「議員」は議員提出議案を示します。
※個々の議案名は小野町議会のホームページに掲載します「会議録」をご覧ください。

町政を問う

※紙面の関係上、「◆」の質問と答弁の内容のみ要約して掲載しています。
掲載されていない質問項目の内容等は、小野町議会のホームページに掲載します
「会議録」をご覧ください。(8月下旬掲載予定)

渡邊 直忠 議員 7ページ

- 子育て世代支援策について
 - ・公私連携幼保連携型認定こども園について
 - ・認定こども園整備事業住民説明会周知方法について
 - ・憲法第89条について
 - ・早朝・延長保育及び預かり保育事業について
 - ・保育士(町職員)派遣について
 - ・保育料について
- ◆ 幼小中高一貫教育について
- ◆ 都市部学校在住者と地方との接点づくりについて
- 2 地域再生法に基づく取り組みについて
 - ◆ 地域再生のための各事業への町の基本姿勢について
 - ◆ 地域再生のための各事業への取り組みについて

会田 明生 議員 8ページ

- 1 健康づくりについて
 - ◆ 特定保健指導について
- 2 Net119緊急通報システムについて
 - ◆ Net119緊急通報システムの導入状況等について
- 3 ホームページの活用について
 - ・分かりやすい掲載方法について
- 4 広報の役割について
 - ・自治体広報の意義・役割について
- 5 職員研修について
 - ・SIM2030について



渡邊 直忠 議員



幼小中高
一貫教育



小野高等学校との連携も模索

問

幼小中高一貫教育を進めては

答

段階ごとに連携した取り組みを進めていく

問 全国的な少子化の流れの中、当町においても児童・生徒数が減少している。今後各学校等の教育活動に大きな影響が生じることも予想される。行政として、幼児期の教育は人格形成にもっとも大事な時期であり、当町の未来を担う人材を育成し、町の将来を見据えた教育のあり方を実行するため、幼小中高一貫教育を提案する。

教育長 幼小中については、義務教育9年間を見通した一貫性のある教育環境づくりの推進、学校教育と幼児教育の相互連携を深めるための幼小交流事業の実施、特別支援教育での幼小中の発達段階に応じた一貫性のある、切れ目のない支援体制が構築されているという点である。

高校との連携については、小野高等学校と連携を図ることを模索していく。

答

住民の機運醸成を図りながらまちづくりに取り組む

問

地域再生のための各事業への町の基本姿勢は

まちづくりに取り組む

問 地域が夢を抱いて、互いにアイデアを出し合い、切磋琢磨することにより、こうした地域の取り組みが一層加速されていくような環境を整備することが重要であるが、町の取り組みの基本姿勢をお聞かせいただきたい。

再質問 今後、まちづくりを進めていくため、また、未来を見据えた事業を行うため、担当部署が必要ではないか。

町長 検討する。



追跡

どうなった？ あの一般質問を検証！

過去の一般質問から「検討したい」という答弁だったものを取り上げ、その後の町の対応を検証します。

町民・職員まちづくりワークショップについて

質問

「協働のまちづくり」と「政策づくり」の観点及び町民の要望等把握のために自治大学校や福島大学等との連携協定を締結し、小野町の持続可能な街づくり・産業振興等の施策づくりの継続的な勉強会を町主催で実施すべきであり、町の意欲ある職員と町の将来に関心のある町民と議員でオール小野町の「まちづくり」「施策づくり」をする時代だと思いますが、町長の見解を伺います。

(平成30年定例会3月会議)

答弁

町民、職員、議員などによるワークショップについては、ケースバイケースとなりますが、「協働のまちづくり」の推進と「要望等の把握」に効率的なので、実施について積極的に考えて参りたいと思っております。学術機関等との連携については、今後模索したいと考えております。

その後

町では、地域産業の振興やまちづくりに関することなどについて共同研究等を行うため、福島工業高等専門学校や郡山開成学園と連携協定を締結しています。

今回、地域創生計画を策定するため、地域の方々ははじめ町内企業や事業者、金融機関の皆さまに参加いただき、ワークショップを開催したもので、この会には連携学校の生徒も加わり、会の運営や学業から学んだ意見などについて地域の方々と議論していただきました。

参加者からは、新たな価値観が生まれた、問題点を共有できたとの感想をいただいたもので、今後も必要に応じてワークショップを活用してまいります。



▲まちづくりについてのワークショップを開催(7月17日)

問

特定保健指導の状況は

答

指導実施率向上のため対策したい

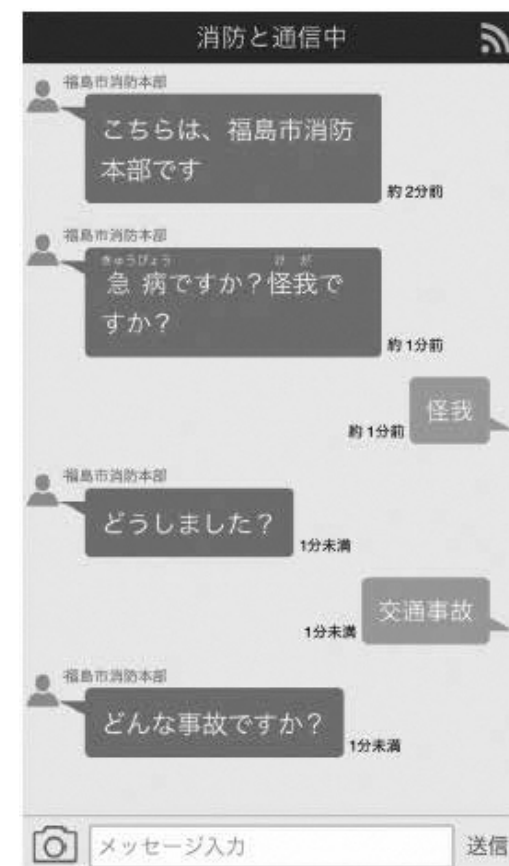
町長 実施状況は、平成30年度の概数で特定健診の受診率42.9%、指導実施率7.1%となっており、県内各団体と比較し、低い状況が続いている。

問 町では、昨年3月に、健康おの21(小野町健康増進計画)を策定し、健康増進のために様々な事業を実施している。

生活習慣病予防のための健康教室も実施しているが、生活改善が必要な方への特定保健指導についての状況、今後の方針等について伺う。



自分の健康は自分で守るという意識を高め、健康診査の受診喚起と保健指導実施体制の整備、保健指導の質の向上などに工夫を凝らしたい。



NET119での通報中の画面
(福島市消防本部ホームページより転載)

問 Net119緊急通報システムは、言葉による119番通報が困難な方々が円滑に通報ができるシステムである。

町長 全国的な導入状況は、平成30年6月現在で消防本部728本部のうち142本部が導入済みとなっている。小野町が構成市町となっている郡山地方広域消防組合では、

防組合では、現在導入に向けた検討を進めており、現時点では、令和2年度までに整備する計画となっている。

なお、システムを利用する場合は、事前に登録が必要となるので、周知に万全を期していく。

答

令和2年度までに整備する計画であり周知に万全を期す

問

Net119緊急通報システムの導入状況は



会田 明生 議員

町民・議会懇談会

主な質問・意見等

町づくり全般

- **中学生の海外派遣事業の見直しについて**
 - ・中学生の海外派遣事業を行っているが、全体のうち10名しか参加できない。これは税金の使い方として平等なのか。
 - ・海外に子供たちを派遣する財源で、もっと教育内容の充実に力を入れてほしい。
- **人口減少への対策について**
 - ・品ノ木住宅を取り壊しているが、その後の住宅整備の予定は。
 - ・河川改修で移転する人への住宅地の提供は。
 - ・若い人が子供を産み育てられる住宅の整備は。
- **いろいろな選択ができる地域づくり**
 - ・企業誘致というが、やりたい仕事に就きたいと考えるのが普通。マッチングが大事。
 - ・小野町自体の魅力がない。商店街から変えていった方がよいのでは。
 - ・近隣市町村では、若者が参加できるイベントを開催している。こういった取り組みをしている地域は文化水準が向上する。
 - ・小野町には使っていない施設がある。スタジオや映画館としての利用、また、そういった施設を利用して起業したい人への支援も必要では。
 - ・いわき市方面への磐越東線の本数や遅い時間帯の運行も増やせないか。
 - ・希望する(セレクト・選択できる)環境のために、細かいところまで目を向けると、魅力ある小野町になるのでは。
 - ・単に他の事例を真似するだけでは、地域は変わっていかない。危機感が足りない。発想の転換を。
 - ・言いたいことが言える、聞きたいことが聞ける環境を。

● 商店街・商業対策について

- ・商業は危機的な状態。空き店舗対策といっても、直すのには費用がかかる。一方で起業したい人にとっては場所がない。情報をマッチングできる仕組みが必要。
- ・事業者は延命治療の状態。また、商工会そのものも、対応できない状況になっているのでは。

● 防災行政無線について

- ・屋外では広報の声が聞こえない。行政区からは要望として報告している。

● 防犯対策について

- ・町内の防犯カメラの設置状況はどうなっているか。町に出入りする主要な道路については、田舎の方にも設置してはどうか。

● 農業振興について

- ・町の農業をどうするのか。畑や田んぼなど、耕作放棄地が拡大してしまう。

● 田村広域行政組合について

- ・新聞に、小野町が広域組合から脱退するとあったが、脱退後の対応はどうなるのか。

● 道路の安全対策について

- ・道路にセンターラインがないため、はみ出して走行してくる車があり危険。安全確保のためにも白線を引けないか。

● 一般廃棄物最終処分場について

- ・新聞に、夏井にあるウイズ社の最終処分場かさ上げ計画に対し、いわき市が反対という記事があったが、町・議会の考え方はどうなのか。また、現在の状況は。
- ・地元が知らないままに進められるのは困る。ただ、前に会社側の説明会があったとき、地元の出席者は10名程度で、地元が無関心なのも困る。

● 町の方向性について

- ・町は「小野町に住んでよかったと思えるまちにしたい。」と話しているが、どんどん人口が減って寂しくなるばかり。町の将来をどう考えているのか。

● 規制緩和について

- ・事業者が店舗などを改修しようとする、浄化槽の規模などが大きく、それだけ経済的な負担が大きくなる。それなら、廃校の跡地を使って事業ができないかという話も出ている。



飯豊地区：飯豊小学校体育館

小野町議会では、より多くの皆様に議会活動を知っていただくとともに、広く意見を聴く機会を設けるため、6月25日から27日にかけて町民・議会懇談会を町内3会場で開催しました。

「町づくり全般について」をテーマに懇談を行い、多くのご意見をいただき、ありがとうございました。

皆様からいただきましたご意見については、今後の議会活動に反映していきます。

小学校統廃合関係

- **統廃合に伴い発生する経済的な負担軽減について**
 - ・小学校の統廃合に伴い、体操着を準備しなければならない。子どもが何人もいる家庭では経済的な負担が大変なので、全額でなくてもよいので補助できないか。
- **通学路の安全対策について**
 - ・小学校が統合されることで、スクールバスが運行されるが、3キロメートル以内は、スクールバスの利用ができない。通学路には暗い箇所があるので、防犯灯の設置など対応をお願いしたい。
- **廃校の管理について**
 - ・小学校の統廃合により廃校となる学校について、草刈りなどの管理はどのようになるのか。浮金では、委託されて管理を行っているが、行政区に任されても困る状態。
- **通学時の安全確保について**
 - ・新しい小学校のスクールバスは、町の研修センターの駐車場で乗降すると聞いている。1年生や2年生などの低学年の児童にとっては、産業道路の横断はリスクが高いのでは。学校の近くで乗降できるようにできないか。
- **廃校の活用について**
 - ・小学校の統合後の夏井第一小学校の使い道は考えているのか。
 - ・アルパインの独身寮の跡地活用の内容が分からない。1階の部分の使い方(レンタルオフィス)は、別な場所や廃校などでも良かったのでは。



小野新町地区：小野町多目的研修集会施設

公共施設等建設関係

- **認定こども園について**
 - ・認定こども園の開設時期はいつか。
- **役場庁舎建設について**
 - ・役場庁舎の建設候補地として5つの案が示されたが、どのような方向で進んでいるのか。
 - ・近年、ゲリラ豪雨などの災害が多く発生している。5つの案の場所は、すべて水没するエリアに入っている。市街地でも、もう少し高台の方がよいのではないか。例えば、現在の小野新町小学校の場所など。災害時に役場が機能しなくなるのは問題では。
- **道の駅について**
 - ・小野町では道の駅が話に出たことはあるか。

議会に対して

- **議会広報について**
 - ・議会だよりに、議案の賛否を掲載しているが、一般質問の有無も掲載してはどうか。
- **議員定数の見直しについて**
 - ・人口が減少しているが、議会議員の定数については、どのように考えているのか。
- **用語について**
 - ・議会基本条例にある二元代表制とは、どういったことか。



夏井地区：夏井多目的集会施設

議会活動トピックス

町村議会広報研修会に参加(5月22日)

広報広聴特別委員会は、福島県町村議会議長会主催の広報研修会に参加しました。「議会活動が伝わり 住民に役立つ 効果のある『議会だより』の編集」をテーマにした講義を受けました。編集を行う際のポイントに注意し、読者目線の広報紙作成に取り組んでいきます。



研修会で広報紙編集のポイントについて講義を受ける

福島県町村議会議長会表彰の受賞(6月3日)

6月3日に開催された福島県町村議会議長会定期総会において、佐藤議員が特別功労者表彰を水野議員が自治功労者表彰を受け、6月12日の定例会6月会議において表彰状の伝達が行われました。

特別功労者表彰は、町村議会議員として20年以上在職、自治功労者表彰は、11年以上在職し、地方自治の振興発展に寄与された功績が認められた方に授与されます。



特別功労者表彰を受賞した佐藤議員



自治功労者表彰を受賞した水野議員

特集

ふるさと小野町会が 創立20周年を迎える

ふるさと小野町会(佐藤武臣会長)が創立20周年を迎えました。総会に併せて記念事業が行われ、町に対し記念品が贈られました。

ふるさと小野町会は、平成11年3月に設立され、設立総会には趣旨に賛同された会員125名のうち、丘灯至夫先生を含む74名が参加しての開催でした。

今年3月で20周年を迎え、現在も佐藤会長を中心に会員155名の皆さまにより様々な活動をされています。

今後とも、ふるさと小野町のために、ご意見やご支援をいただきたいと思います。



ふるさと小野町会総会には70名が参加



ふるさと小野町会総会後の交流会参加者での記念撮影

グループ紹介

小野町ライオンズクラブ

会長 西牧 義和さん

小野町ライオンズクラブは1968年3月31日に結成され、今年で51年を迎え、月2回の例会を行い、会員22名で活動しております。

ライオンズクラブは世界最大の奉仕団体として、1世紀に渡り奉仕を通じて、世界をより良い場所にするという伝統を受け入れ、引き継いでいくことを目指しています。

昨年は節目となる50周年記念式典を数多くの来賓をお迎えして、当町の多目的研修センターにて盛大に開催し、小野運動公園にソーラー電波時計や小野町商工会へ乗用車の寄贈事業を実施しました。

さらに通年事業として、中学・高校への新聞購読料の寄付やあぶくま高原道路小野インターチェンジ周辺の整備事業、小町ふれあいフェスタにおける献血活動、国際平和ポスター展示会などを実施して、地域に密着した奉仕活動を続けております。



小野町商工会へ乗用車の寄贈



小野運動公園へソーラー電波時計の寄贈

議会活動日誌

5月

- 3日 リカちゃんバースデーセレモニー
- 7日 福島県市町村振興協会理事会（福島市）
- 8日 福島県町村議会議長会正副会長会議・理事監事合同会議（福島市）
- 9日 田村地方市町議会議長会総会（三春町）
- 10日 月例全員協議会／広報広聴特別委員会
- 11日 夏井第一小学校運動会
- 14日 県南地方町村議会議長会連絡協議会総会
阿武隈高原中部観光連絡協議会総会
- 16日 第60回小野町商工会通常総代会
- 17日 小野町水防協議会／田村地区交通安全協会小野支部定期総会
- 18日 飯豊小学校運動会／浮金小学校運動会／小野新町小学校運動会
- 19日 ふるさと小野町会20周年記念総会（埼玉県）
- 20日 小野町更正保護女性会定期総会
- 21日 議会運営委員会／全員協議会／小野町議会5月第1回会議
議会改革特別委員会専門部会／三春町議会との意見交換会（三春町）
- 22日 町村議会広報研修会（郡山市）／郡山地方広域消防組合議会臨時会（郡山市）
田村地区交通安全協会定期総会（田村市）
- 24日 例月出納検査／全員協議会
- 25日 元気発信!!おのまち交通安全パレード
- 26日 高柴山山開き
- 27日 北海道・東北町村議会議長会ブロック会議
- 28日～29日 全国町村議会議長・副議長研修（東京都）
- 30日～31日 議会要望活動・特別委員会研修（東京都）
- 31日 福島県町村議会議長会正副会長会議（福島市）

6月

- 1日 矢大臣山山開き
- 3日 福島県町村議会議長会定期総会（福島市）
- 6日 中小企業家同友会との意見交換会
- 7日 議会運営委員会／全員協議会／議会改革特別委員会
- 12日～17日 小野町議会定例会6月会議
- 17日 月例全員協議会
- 18日 田村広域行政組合議会臨時会（三春町）
- 20日 三春町議会視察来町
- 21日 平田村議会との交流会（平田村）
- 23日 第15回福島県消防協会田村支部幹部大会
- 25日 例月出納検査
- 25日～27日 町民・議会懇談会

7月

- 3日～5日 議会全体研修（北海道）
- 8日 議会運営委員会／全員協議会／小野町議会7月第1回会議
月例全員協議会／青少年育成 少年の主張大会
- 10日 小野町交通対策協議会／小野町青少年育成町民会議総会
- 11日 公立小野町地方総合病院企業団議会
- 20日 サマーイルミネーション点灯式／石垣市訪問団との交流会
- 23日 例月出納検査／議会改革特別委員会専門部会
小野町行政区長会との意見交換会
- 23日～25日 決算審査（現地調査）
- 27日 こまちダムまつり
- 29日 田村地区防犯協会連合会総会（田村市）
- 30日 議会改革特別委員会専門部会／広報広聴特別委員会
田村地方市町議会議員研修会（三春町）
- 31日 小野町戦没者追悼式

議会からのお願い

議会だよりの取材のため、腕章をつけた広報広聴特別委員会の委員が、お伺いしますので、ご理解・ご協力をお願いします。

議会活動トピックス

中小企業家同友会との意見交換会（6月6日）

福島県中小企業家同友会田村地区会員の皆さんと意見交換会を開催しました。地域の中小企業の実態や中小企業振興基本条例について、活発な意見交換が行われました。今後の議会活動や町政への提言に活かしていきます。



中小企業の実情などについて活発な意見が出される

通年議会についての視察に来町（6月20日）

三春町議会の皆さんが、小野町で平成26年から実施している「通年議会」の取り組みについて視察に訪れ、意見交換を行いました。常任委員会の審査、通年議会導入の効果などについて、質疑が行われました。



通年議会についての意見を交換

定例会9月会議は

9月5日(木)から開会します。

一般質問は9月6日(金)の予定です。傍聴をお待ちしています!

※詳しくは小野町議会事務局までお問い合わせください。(0247-72-6930)

小野中学校消防クラブが、福島県消防表彰(表彰旗)を受賞されました。(詳しくは広報おのまち7月号をご覧ください。)

平成26年に結成されて以来、防火に関する知識と技術を身に付け、将来の防災リーダーを育成することを目的に活動されてきた成果が認められたものだと思います。

表紙は、郡山地方広域消防組合による予防救急サポーター養成講座の様子で、消防クラブの皆さんをはじめ2年生全員が心肺蘇生法を学びました。

今後とも一層の活躍を期待します。



小野中学校消防クラブの皆さん

表紙の写真

小野町議会

【広報広聴特別委員会】

委員長	遠藤 英信
副委員長	吉田 康市
委員	佐藤 登
委員	水野 正廣
委員	宗像 芳男
委員	竹川 里志
委員	渡邊 直忠
オブザーバー	村上 昭正

梅雨明けの厳しい暑さが戻ってきました。

長雨による米、野菜への影響が心配されますが、稲の出穂も始まりました。豊作をお祈りいたします。

小野町議会広報広聴特別委員会では広報広聴活動として、年4回の「議会だより」の発行や、「議会報告会」開催から数えると今年で7回目となる「町民・議会懇談会」を町内の3方部で開催しました。今回は議会の在り方を示す、小野町議会基本条例(素案)をお示しさせていただきました。

皆さんからのご質問やご意見をお寄せください。

• あとがき •